



●司 会 **八尾 厚史**
東京大学保健・健康推進本部講師

●出席者 **笠原 真悟**
岡山大学病院心臓血管外科教授

平田 康隆
東京大学医学部附属病院心臓外科准教授

松尾 浩三
千葉県循環器病センター特任顧問

(五十音順)



ACHD-(shunt associated) PAH に対する 'Treat and Surgical Repair'

経口肺動脈性肺高血圧症 (PAH) 治療薬の登場以前は, 成人先天性心疾患 (ACHD) に伴うシャント性 PAH に対する外科的シャント修復術の適応基準を設けることが難しく, 先天性心疾患の診療経験が豊富な専門施設において経験的な判断がなされていた。2005年以降数々の経口 PAH 治療薬の登場により, シャント閉鎖後の PAH のコントロールは著明に改善するようになったが, 外科的シャント閉鎖は ACHD-PAH の治療において依然として重要な位置を占めている。そこで本座談会では ACHD-(shunt associated) PAH の治療経験が豊富な外科医の先生方をお招きし, 'Treat and Surgical Repair' の治療概念の変遷や最新の治療, さらに一歩進んだ ACHD-PAH の外科治療についてもディスカッションいただいた。

本座談会はオンラインで開催いたしました